

様式第2号(第7条関係)

事業計画書

事業者名	株式会社 MINAMISOMA	
担当者名	〇〇 〇〇	
連絡先 (電話番号等)	電話：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 メール：×××@×××	
事業名	次世代型コミュニケーションロボットの開発	
事業実施期間	令和8年6月15日 ～ 令和9年3月15日	
事業の目的	本事業では、音声や動作などの手段を使った人とのコミュニケーション機能の他に、掃除や配送などの機能を加えた次世代型コミュニケーションロボットを開発することで、高齢者介護等の業務量削減に役立てることを目的とする。	
事業の概要	次世代型コミュニケーションロボット『ミナボくん』のプロトタイプの開発を行う。1年目は、ソフトウェア、機構の設計・開発を行い。2年目は、外装のデザイン設計・製作、安全性の確認のための実証を行い、適宜改良を行う。	
実施予定(計画)		
年 月	内 容	備 考
令和8年6月～	南相馬事務所の設置	市内空き事務所を改修
令和8年7月～	ロボットの設計、ソフトウェアの開発	一部設計を(株)△△システム開発に委託
令和8年10月～	部品の調達、加工、組み立てを行う	〇〇金属(株)に部品の加工、組み立てを(株)〇〇工業に委託
令和9年3月	コミュニケーションロボット「ミナボくん1.0」完成	

備考

- 欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 実施予定(計画)は、申請年度に実施するもののみ記載してください。

複数年度事業計画書

1年目実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・南相馬市への拠点の設置 ・Chat-GPT等AIを活用したおしゃべり機能の開発。 ・ロボットの機構を設計。 ・プロトタイプ用の部品発注、組み立てを行う ・プロトタイプの動作確認。 		
	想定連携企業 ※	(株)〇〇工業、□□金属(株)、(株)△△システム開発	
	想定成果物	コミュニケーションロボット『ミナボくん1.0』	
2年目実施概要	<p>1年目に作成したプロトタイプの実証実験を進め、商品化のためのブラッシュアップを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外装のデザイン、製作。 ・実証実験 ・実証実験の結果を受け、適宜部品の改良や機構の設計の見直しを行う。 		
	想定連携企業 ※	(株)〇〇工業、〇〇金属(株)、(株)△設計、介護関係事業者	
	想定成果物	コミュニケーションロボット『ミナボくん2.0』	
想定経費 (千円)			
	全体経費 (税込)	補助対象経費(税抜)	補助金申請額
1年目			
2年目			
合計			
開発品の市場性 ・ 補助事業終了後の展望	<p>少子高齢化に伴い、介護業界は人手不足に悩んでいる施設が多くあります。次世代型コミュニケーションロボット『ミナボくん』を導入することで、介護職員の業務の一部を任せることができ、業務負担を軽減することができることから、介護業界において需要があるものと考えています。</p> <p>また、量産化を視野に入れ開発を続け、引き続き地元企業に部品等の発注を行う予定です。</p>		

※ 具体的な企業が決まっていない場合は、具体的な業種を記載すること。

様式第4号(第7条関係)

収支予算書

1 収入 ※ 千円未満切り捨て

区 分	事業予算額	説 明
市補助金	9,333千円	
自己資金	4,667千円	
合 計	14,000千円	

2 支出 ※ 千円未満切り捨て

区 分	支出予定額	説 明
部品調達費	6,900千円	ロボット部品の原材料費及び加工費
拠点設置費	3,000千円	事務所改修費、エアコン、暖房機器購入費
設計費	1,500千円	ロボットの機構の設計委託費
調整費	2,500千円	ロボットの組み立て及びメンテナンス委託料
調査費	100千円	開発に必要な資料の購入費
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
事業予算額	14,000千円	

備考

- 欄が足りない場合は適宜追加してください。
- 千円以下の金額については、切り捨てた額を記入してください。